

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市小松島児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 24,989人 (前年度比 99.4%) 平成30年度 25,152人 平成29年度 27,071人 平成28年度 24,219人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>指定管理者に支払った費用 33,805千円 (33,641千円) ()は前年度決算額</p> <p>その他市が負担した費用 0千円 (0千円)</p> <p>《収入》</p> <p>使用料収入 0千円 (0千円)</p> <p>その他収入 0千円 (0千円)</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営懇談会、児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議、チェックシート等で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、主体性を育むために、子どもスタッフを募集し、地域の方に感謝する「感謝祭」を開催しており、子ども達の考えやアイデアを大切に企画運営をサポートしている。保護者とは、「チームで子育て」というねらいのもと日常的な連携を大切にし、連絡帳や電話などを使った丁寧なやり取りを通して、信頼関係を築いている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>魅力ある児童館の創造はどうあればよいかを強く意識しながら職員一丸となって運営に携わってきた。とりわけ、地域の人たちと共に歩んでいくことと多世代の人々が気軽に交流できることを重視した取組を行ってきた。地域に生かされていることを常に意識しながら地域社会に何ができるかを考え取り組んできた。</p> <p>1 子育て家庭支援事業について 当児童館では、ママ☆ボランティア(通称ママ☆ボラ)による活動に継続的に取り組んでいる。このママ ☆ボラ(乳幼児の保護者)は、親子で一緒にできるイベントをママ同士で企画・実施したり、お茶会を開催したりしながら親子で楽しむ活動を自主的に運営するボランティアである。年3回のイベントに向けて月1回程度の打ち合わせや準備を行っている。7月の「なつのひろば(テーマ:水あそび)」や11月の「ふゆのひろば(テーマ:ママ☆ボラ商店街)」, 福沢市民センターでの文化庁派遣事業「親子で楽しむ音の遊園地(12月)」を開催してきた。児童館と市民センターそれぞれの職員も共に話し合いに参加し、乳幼児の保護者の方の考え方やニーズを適切に把握しながらサポートすることができた。両親と一緒に出席や多数の参加があり、乳幼児の満面の笑みや保護者の皆さんの満足した表情にママ☆ボラの方も成就感と安堵感を持ったようである。今後も、他機関との連携を継続しながら利用者目線の活動を展開していきたい。</p> <p>2 地域交流推進事業について 毎年2月に、地域の皆さんの交流と児童館の運営改善を図る目的で地域交流会を開催している。今年度は「CAFEで小松島」と称し、地域の方々に広く参加を募った。当日は、地域のウクレレバンドの皆さんの演奏をバックに老いも若きも、職員もコーヒ一片手に話が弾みより交流を深めることができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子育て家庭支援事業では、登録制の幼児クラブや年齢別の定例行事、看護師等による育児相談や親子遊びができる「おたママサロン」などを実施し、多くの乳幼児親子が参加している。継続的に取り組んでいる「ママ☆ボラ」は、乳幼児の保護者がボランティアで行事を企画立案し、実行するもので、親子遊びやお茶会など親子で楽しむ活動を年間3回開催している。行事の開催にあたっては、準備段階から児童館の職員も一緒に話し合いに参加しており、その機会を捉えて乳幼児親子のニーズを直接把握するなど、ママボラの活動を支援しながら児童館運営にも活かしている。</p> <p>地域交流推進事業の1つとして行った「CAFEで小松島」は、地域の方々から広く参加を募り、お茶を飲み音楽を聴きながら、「児童館について」をテーマに気軽に意見を話し合うユニークな取り組みであり、地域交流を深めながら参加者の意見を児童館運営の活かしている点が評価できる。</p> <p>児童健全育成事業では、地域の方が指導する小学生向けの「ウクレレタイム」がとても活発であり、職員や地域の方々も参加したウクレレチームとして様々な地域行事で演奏するなど、達成感や自己肯定感を得る機会につながっている。さらに、「将棋タイム」や「おはなし会」、「昔遊び」など地域の方々に関わる行事が多数あり、遊びを通して地域交流や異世代交流が図られている。</p>	S

四 その他特記事項

(上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する)

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課